

Blend



現地は豊かな緑と大きな池が印象的だった。よって木と水をキーワードにしてデザインした。周辺にあるマツやサクラを少し伐採し、それらの一部を休憩所に利用した。伐採することで、設置場所の確保ができるだけでなく、休憩所からの景色が楽しめる。敷地内の木のチップの道沿いに設置することで、歩いている途中で立ち寄ることができるため利用率が高くなると考える。段差は小さくして一息つきたいときに気軽に利用できるようにした。大きな壁は存在感を持たせ休憩所の存在に気づきやすくすることとライトを埋め込み夜間でも安心して利用できるようにする役割を果たす。

